荒尾市民病院　市民を愛する　市民に愛される　病院へ
地域医療連携だより
小岱
第48号（2023年5月発行）
地域医療支援病院　地域がん診療連携拠点病院　臨床研修病院（基幹型・協力型）
脳卒中急性期拠点医療機関/回復期医療機関
心筋梗塞等の心血管疾患急性期拠点病院/回復期医療機関　災害拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院　第2種感染症指定医療機関　地域周産期中核病院

新年度挨拶　院長　勝守　高士

ゴールデンウィークが過ぎ新緑が眩しい季節になりましたが、有明地域の医療関係の皆様いかがお過ごしでしょうか。３年半に渡って２類感染症として対応してきた新型コロナウイルス感染症も遂に今月8日から５類になり、９月までは移行期間ではありますが、インフルエンザに準じた管理体制に変わります。ただし、インフルエンザとは異なり不顕性感染者からの感染率が高く、高齢者の致死率も高いため、有明地域の医療の継続のためにはクラスターの予防は必要不可欠です。今後とも、マスク・手洗い・手指消毒・換気による感染予防を継続し有明地域全体の医療レベルを高い位置で維持していきましょう。

当院では、今春新たに医師16名、看護師23名、歯科衛生士２名、介護福祉士3名、理学療法士2名、事務部1名の新入職員を迎えました。さらに、新規外来として、肝臓内科外来、呼吸器外科外来を新設しました。今まで以上に地域連携を深めることで、患者中心の安全で質の高い医療を提供して参ります。よろしくお願い致します。

感染対策・患者のプライバシー保護に対応した急性期病棟全室個室、患者目線で利用しやすい外来、救命率を上げる救急部門の配置、患者に優しくかつ精度の高い医療を行う手術室・カテ室、大規模地震に耐え災害拠点病院として地域を支える免震構造を五つの柱として設計し建設を進めて参りました新病院もいよいよ完成間近となりました。本年８月中旬に竣工10月１日に開院となり、その後現病院を解体し来年秋にグランドオープンの予定です。

当院では今後とも荒尾市唯一の急性期医療機関として院内感染予防に全勢力を挙げて取組み、地域がん診療連携拠点病院・脳卒中急性期拠点病院・心筋梗塞などの心血管疾患急性期拠点病院・災害拠点病院としての責任を果たしていく所存です。

現在、患者ご紹介に際しまして、基本的に当院相談支援センターに予約申込をお願いしていますが、お急ぎの場合に当院の電話が繋がりにくく大変ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。この問題解決のために、この度、紹介ホットラインを設けることに致しましたのでよろしくお願い申し上げます。私たち荒尾市民病院は今後ともより良い医療連携を目指し改善して参ります。

各医師会・歯科医師会・薬剤師会・消防本部・その他の連携機関の皆様におかれましては５類変更後の新型コロナ対策でいろいろとご心配されていることとお察し申し上げます。少子高齢化が進み高齢患者が増加し保険料負担世代の若者人口が減少する中、さらに新型コロナという問題まで出現し問題は山積みです。さらなる効率的医療の推進が急務です。有明地域全体で病診連携・病病連携・医歯薬連携を進め、住民を含めたチームワークで有明地域住民の健康を守って行くことが重要と考えております。本年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

新任医師の紹介

循環器内科医長

牧　雄二（まき　ゆうじ）
出身大学：久留米大学
　初めまして、本年度より循環器内科で勤務します。荒尾に引っ越してきましたが、県北は初めてです。まずは荒尾をよく知り、地域に根付いた医療を目指しますのでよろしくお願いします。

病理診断科医長

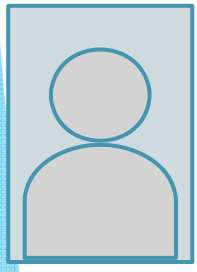
竹屋　裕斗（たけや　ひろと）
出身大学：熊本大学
　病理を始めて5年目です。まだまだかけ出し病理医で未熟者ですが、自己研鑽を重ねてまいります。地域の皆様に最善の医療をお届けできるよう努力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

整形外科医師

後生川　輝（ごしょがわ　ひかる）
出身大学：熊本大学
　熊本出身で熊本大学を卒業後は名古屋徳洲会総合病院で初期研修を行い、令和2年に熊本大学整形外科に入局しました。その後、済生会熊本病院や熊本総合病院で勤務し、主に外傷をメインに診察して参りました。有明地域で過ごすのは初めてですが、これから地域のことを知っていくとともに皆様のお怪我の治療や健康に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。

整形外科医師

笹岡　眞光（ささおか　まさみつ）
出身大学：久留米大学
　4月より荒尾市民病院整形外科で勤務させていただいております。平成30年に久留米大学を卒業し、熊本医療センターで初期研修を行い熊本大学整形外科に入局。大牟田天領病院、熊本市民病院、熊本労災病院で勤務をしてきました。有明地域の皆様に貢献できるように、日々研鑽を積みたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

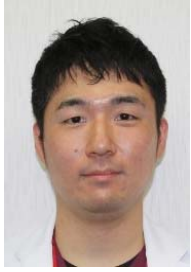


小児科医師

岡本　ユカ（おかもと　ゆか）
出身大学：久留米大学
　県北での勤務は初めてですが、学生の時、グリーンランドに行ったことがありますが、絶叫系は苦手です。
　不慣れでご迷惑をおかけいたしますが、皆様が心身共により良い生活ができますようお手伝いいたします。よろしくお願いします。

救急科医長

中本　弘作（なかもと　こうさく）
出身大学：自治医科大学
　天草の旧牛深市の出身です。荒尾市民病院入職前は１０年間熊本県庁に勤務していました。これから半年～１年間は臨床に復するための修練の期間と考えています。一方では、美味しい物を食べたり、お酒を飲んだりすることが好きですので、一軒でも多く、当地の居酒屋などを巡って楽しみたいと思います。皆様ご指導よろしくお願いいたします。



脳神経外科医師

森　遼介（もり　りょうすけ）
出身大学：熊本大学
　県北地域での勤務は初めてとなります。荒尾の思い出は学生時代に自転車で熊本市から万田坑に来たことしかないので、新しく思い出ができたら良いなと思います。未熟者ですがよろしくお願いします。

皮膚科医師

大溝　耕一郎（おおみぞ　こういちろう）
出身大学：熊本大学
　初めまして、今年度より皮膚科医師として荒尾市民病院で勤務させていただくことになりました。昨年度は水俣市の病院で勤務していました。出身は合志市という熊本市の北隣にあるベッドタウンです。県北方面は初めてになります。若輩ゆえご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、荒尾市、有明地区の医療に少しでも貢献できたらと思います。お困りの際はいつでも皮膚科までご相談ください。どうぞよろしくお願いします。

血液内科医師

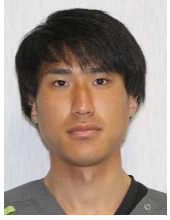
田口　詢（たぐち　じゅん）
出身大学：熊本大学
　国立病院機構熊本医療センターから赴任しました。
　荒尾には小さい頃によくグリーンランドへ遊びに来ていました。有明地域の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

研修医（基幹型・協力型）の紹介

研修医（基幹型）

赤穂　拓海
（あかほ　たくみ）
出身大学：鹿児島大学

初めまして、荒尾市民病院で研修医として勤める赤穂と申します。長洲町出身で、荒尾市にも馴染みがあります。医療現場で経験を積むために、熱意を持って日々勉強しています。患者さんの声を聞くことを大切にし、一人ひとりに合った治療を提供することを目標にしています。１日でも早く専門的な知識や技術を身に付け、医師として成長できるよう精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



研修医（基幹型）

髙垣　光太郎
（たかがき　こうたろう）
出身大学：熊本大学

出身は大阪で大学から熊本に来ました。市内のことは大学生活の中で色々知ることはできましたが、荒尾のことはまだあまり知らない状態なので、皆様に荒尾の良い場所を教えていただけると嬉しいです。まだまだ右も左もわからない状態ですが精一杯頑張りますのでこれからどうぞよろしくお願いします。

研修医（基幹型）

西村　愛里沙
（にしむら　ありさ）
出身大学：金沢医科大学

4月より初期研修医として入職しました西村愛里沙と申します。慣れ親しんだ荒尾で研修ができることになり嬉しいです。研修では向上心を持って取組み少しでも成長できるようにがんばりたいと思います。至らぬ点が多くご迷惑をおかけすることがあると思いますが、宜しくお願いします。

研修医（基幹型）

百田　侑哉
（ももた　ゆうや）
出身大学：佐賀大学

本年度よりお世話になります。マリンスポーツをやっており、海が好きです。荒尾市、有明地区の医療に貢献できるよう日々研鑽を積んでまいります。宜しくお願いします。

研修医（基幹型）

吉田　大樹
（よしだ　だいき）
出身大学：熊本大学

大学時代にはオーケストラ、テニス、茶道、ロードバイクに熱中していました。遠回りした分、周りに比べて要領悪いところがあるかと思いますが、有明地域の医療の発展に貢献できるよう精進したいと思います。よろしくお願いします。

研修医（協力型）

尾﨑　滉志郎
（おざき　こうしろう）
出身大学：久留米大学

こんにちは。研修医2年目の尾﨑滉志郎と申します。昨年度は熊本医療センターにて1年研修をさせていただいておりました。出来るだけ早くこちらでの仕事に慣れることが出来るように努力致しますのでどうぞよろしくお願い致します。

研修医（協力型）

中川　真大
（なかがわ　まさひろ）
出身大学：熊本大学

熊本大学から来ました、研修医の中川です。熊本県出身で、中学までは附属中、高校は愛媛県の愛光高校に行っていました。大学では実家から通っていて4月にこちらに引っ越してきてから初めて一人暮らしで今のところ毎日たいへんです。がんばります。

研修医（協力型）

鈴木　花梨
（すずき　かりん）
出身大学：熊本大学

初期研修医1年目の鈴木花梨です。好きなことは美味しいご飯を食べることと飼い猫と遊ぶことです。荒尾には以前も住んだことがあり、ハゼ釣りをしたりカフェを巡ったり、楽しい思い出がたくさんあります。大好きな街なので荒尾市民病院で働くのを楽しみにしてきました。未熟な身ですが、今の自分にできることを精一杯頑張ります。医学・医療・荒尾のことなどたくさん教えていただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いします。

チャイルド・プロテクション・チームのご紹介

荒尾市民病院では令和3年8月、虐待の早期発見並びに 18歳未満の虐待を受けたと疑われる子どもの保護及びその家族の救済への迅速な対応を病院組織として行うため、チャイルド・プロテクション・チーム（以下「CPT」）を設置し、当院での子ども虐待に対する体制構築を図ってきました。

CPTでは、虐待を受けた可能性がある子どもや療育環境に不安がある子どもを発見した場合、小児科部長をリーダーに、当該疾患領域担当医師、小児科医師、救急科部長、病棟師長等の多職種から構成される委員を招集し、児童相談所等の関係行政機関と連携してケースカンファレンスを開催し対応について協議をします。このように荒尾市民病院ではCPTを中心に、子どもの安全確保に向けて最善の対応を取ることができるように取り組んでいます。

《病院理念》

荒尾市民病院は、地域住民の健康の維持・増進に努め、患者中心の安全で質の高い医療の提供を目指します。

《基本方針》

1 地域の信頼に応える基幹病院として最善の医療を提供します。

2 地域連携を進め、地域完結型医療を目指します。

3 患者の人権を尊重し、あたたかい心を持った医療人を育成します。

4 効率的な経営管理を基本とし、健全な経営を目指します。

《患者さんの権利と責務》

1 あなたは、個人としてその人格が尊重される権利があります。

2 あなたは、あなたの病気について、良質な医療を平等に受ける権利があります。

3 あなたは、医療の内容について十分な説明を受け、十分な納得と同意の上で適切な医療を選択し、決定することができる権利があります。

4 あなたは、個人情報とプライバシーが守られる権利があります。

5 あなたは、ご自身のカルテなどの診療記録の開示を求め、その内容や説明を受ける権利があります。

6 良質な医療を実現するため、医師等に患者さんご自身の健康に対する情報を正確に伝える責務があります。

7 病院の規則に従い他者への迷惑にならないように努める責務があります。

8 臨床研修医、看護学生等が指導者の監督のもと研修や実習を行なっていることへの協力をお願いいたします。

荒尾市民病院　地域医療連携だより「小岱」　第48号　2023年5月発行
発　行：荒尾市民病院　相談支援センター　地域医療連携室
連絡先：〒864-0041　熊本県荒尾市荒尾2600
TEL：0968-63-1115（内線536・537）　FAX：0968-62-4543
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　bsn@hospital.arao.kumamoto.jp